

乳用牛の「断尾」について

ポイント：断尾よりも尾房のトリミングが推奨されます。

乳質の改善等のために、「断尾」は実施した方が良いの？

断尾をすると、牛体や乳房・乳頭が汚れにくくなることから、乳房炎になりにくくなり、乳質が良くなる（体細胞が減少する）などの理由から、断尾が推奨された時期もありました。

しかし、断尾の実施の有無と乳質等との関係について調査した研究では、断尾は乳質に影響を及ぼさないといった報告がされています。

牛体や乳房等の汚れを防止するためには、その原因となる牛床の改善やふん尿の適切な処理等を行って、飼養環境の改善を図ることが何よりも重要となります。

どうしても牛体や乳房等の汚れが改善されず、尾が問題となっていると考えられる場合には、尾房のトリミングや洗浄を行って対応することが、汚れの牛床への持ち込み防止にもなり推奨されます。

「断尾」のデメリットはあるの？

牛は尾を使って、ハエやアブ、カ等の害虫を追い払っています。断尾により、これらの害虫を追い払うことができず、牛体に付着するハエの数が多くなること等も報告されています。

搾乳作業を行う人の怪我が心配…

搾乳器を装着する際に作業員の眼を傷つけるおそれがある等の理由からも断尾が実施されてきました。このような場合にも尾房のトリミングは有効な方法です。また、ひと手間かかってしまいますが、搾乳時にひもを使って尾を固定するなどして対応することも推奨されます。

飼養管理の改善例



牛床は牛の体格にあった長さが推奨されます。
(坐骨端が牛床後端あたりになっており、尾を落とす牛が数頭、上側後肢を落とす牛がわずかに見られるのが体格にあっている状態です。)



掃除をこまめにして、清潔にすることが重要です

尾房のトリミング方法

尾房のトリミングとは、毛の部分をカットする方法です。
特に尾毛が汚れやすいので、尾毛を少なくすることで汚れが軽減されます。



尾房全体をカットしてトリミング

尾の毛の部分のみを握って、余ったところを切ります（15cm ぐらいの毛は残す感じ）。周辺もトリミングして整えます。



【参考（断尾に関する各指針の関連する記述）】

- 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針」
〔(公社) 畜産技術協会策定〕

断尾は、牛体や乳房の汚れにより生乳が汚染されることの防止や、尾による管理者の負傷防止等を目的として行われるが、害虫を追い払うことができなくなり、牛がストレスを感じることから、実施しないことが望ましい。牛体や乳房の汚れを防止するためには、牛床環境の改善やふん尿の適切な処理、尾房の洗浄やトリミング、繫留時に尾を吊り上げておくなどの方法がある。

- 「アニマルウェルフェアと乳用牛生産システム」〔OIE※策定〕（仮訳）

断尾によって乳用牛の健康及びウェルフェアを向上することはなく、推奨されない。健康の維持が問題である場合には、尾房のトリミングが、代替法として考慮されるものとする。

※OIE（国際獣疫事務局）はアニマルウェルフェア等の国際的なガイドラインを策定・助言する国家間機関